

NEWSLETTER No.112
ISSN 1340-5578

TŌYŌ ONGAKU GAKKAI KAIHŌ
The Society for Research in Asiatic Music

May 19, 2021



一般社団法人
東洋音楽学会

発行 一般社団法人東洋音楽学会
事務所 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号 TEL/FAX 03-3832-5152
●E-mail: LEN03210@nifty.com ●ホームページ: <http://tog.a.la9.jp>

会報 第**112**号

目次

第72回大会のご案内.....1	ICTM(国際伝統音楽学会)に関するお知らせ.....6
第72回大会の研究発表募集.....2	芸術学関連学会連合第15回シンポジウムのお知らせ.....7
第38回田邊尚雄賞授賞発表.....3	RILM委員会からのお知らせ.....7
第39回田邊尚雄賞アンケートのお願い.....3	東日本支部からのお知らせ.....7
第18回通常理事会議決事項のお知らせ.....4	樋口昭氏ご逝去.....8
日本学術振興会育志賞の学会推薦について.....4	樋口昭さんの思い出.....8
名簿情報登録フォームに入力してください.....4	会員異動.....8
会員メールアドレス登録などのお願い.....4	図書・資料等の受贈.....10
会報および支部だより／通信などの 郵送停止手続きのお願い.....5	新刊書籍.....10
会員の受賞.....5	新発売視聴覚資料.....12
会費納入のお願いと会員割引のお知らせ.....5	編集後記.....13
『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ.....6	第18回通常理事会添付書類.....14

第72回大会のご案内

東洋音楽学会第72回大会は、新型コロナウイルス感染症への対応として、東洋音楽学会ウェブサイトを経由したライブ配信(YouTube)及びビデオ会議システム(Zoom)を利用し、国立民族学博物館との共催により開催致します。第72回大会では、「みんなくシアター」「東洋視聴覚ライブラリー」といった特設サイトや、質問フォーム等を通して会員間の活発な議論・交流ができるような運営を目指します。多くの会員のご参加をお待ちしております。

◇日時 2021年10月30日(土)、31日(日)

※ 大会特設サイトは2021年10月23日(土)～
31日(日)の期間中アクセス可能

◇会場 東洋音楽学会 第72回大会特設サイト(参加登録者にID・パスワード配布)

◇大会テーマ 「音楽研究とメディアの歴史と未来」

◇日程

[第72回大会特設サイト]

(10月23日～10月31日公開)

- みんなくシアター
・映像民族誌『アリラン峠を越えていくー在日コリアン音楽の今』(75分)ほか
- 東洋視聴覚ライブラリー
・公開シンポジウム「音楽研究とメディアの歴史と未来」の関連映像・音源
・映像発表作品など

[第1日] 10月30日(土)

13:20 開会挨拶(ライブ配信)

13:30 公開シンポジウム

「音楽研究とメディアの歴史と未来」(ライブ配信)

登壇者: 小島美子、丹羽朋子(非会員・文化人類学者)、
大石始(非会員・音楽ライター)

コメンテーター: 久万田晋 司会: 福岡正太

15:30 座談会「アラン峠を越えていくー研究・公演・映像を通じた実践」(ライブ配信)

対談者: 寺田吉孝、高正子(非会員・在日コリアンの文化研究)、安聖民(非会員・パンソリ唱者)

16:50 田邊尚雄賞授賞式(Zoom オンライン)

17:20 第10回定時社員総会(Zoom オンライン)

* 第72回大会では懇親会は開催致しません。

[第2日] 10月31日(日)

9:00~17:00(予定) 個人発表および共同発表(Zoom オンライン)

映像発表(映像作品はYouTubeにて公開、質疑応答はZoom オンライン)

◇参加方法

大会に参加するための事前の登録と参加費のお支払いが必要です。

参加登録をされた方へオンライン大会へのログイン情報

(ID・パスワード)をお知らせします。

* 詳細は追って会報や学会ウェブサイト等でお知らせします。

◇参加費

正会員: 3,000円

正会員のうち大学院生(修士課程・博士課程・研究生在籍者)と学生会員: 1,500円

非会員: 3,000円

* 支払方法の詳細は追って会報や学会ウェブサイト等でお知らせします。

◇デジタル環境の問題でオンラインでの大会に参加できない会員へ

・公開シンポジウム・座談会(抜粋の場合もあり)に関しては、上記に該当する希望者のみにDVD映像を送付致します。下記の大会実行委員会へ10月18日(月)までにお知らせください。その際、参加費のお支払い、また使用目的に関する誓約書のご提出をお願い致します。

◇大会実行委員会

上畑史 植村幸生(本部経理) 大久保真利子 岡田恵美
(委員長) 神野知恵 金悠進 田中多佳子

田中多佳子(本部総務) 中安真理 福岡正太(本部総務)
福岡まどか

連絡先: 東洋音楽学会 第72回大会実行委員会

tog72osaka@gmail.com

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1 国立民族学博物館 人類基礎理論研究部 岡田研究室内

第72回大会の研究発表募集

東洋音楽学会第72回大会における研究発表を下記の要領で募集します。会員の多彩な内容の発表を期待します。なお本大会は大会テーマ「音楽研究とメディアの歴史と未来」を設けましたので、テーマに沿った内容は特に歓迎いたします。

◇発表形態

(A) 個人発表: Zoom オンラインでの口頭発表(発表20分+質疑応答10分)

(B) 共同発表: Zoom オンラインでの共同セッション・パネルディスカッション等
(60分~90分、質疑応答を含む)

(C) 映像発表: 40分以内の映像作品(著作権が発表者に属するもの、あるいは使用にあたって著作権者の許諾を得ているもの)

映像作品は、大会特設サイト(10月23日~10月31日)で公開し、大会第2日目にZoom オンラインで質疑応答(10分)を行います。

◇申込手順

1) 発表申込フォーム(<https://forms.gle/HGaDyNTYrn3fZvB7>)よりお申込みください。東洋音楽学会ホームページの「大会案内」から上記フォームにアクセス可能です。

フォーム内で記載が必要な主な項目は下記の通りです。

(1) 発表形態: (A)(B)(C)より選択

※(B)の場合は、所要時間、共同セッションかパネルディスカッションか(その他の表現も可)。

(2) 題目

(3) 氏名(共同の場合は代表者氏名と構成員氏名)

(4) 連絡先(住所、電話番号、電子メールアドレス)

(5) その他、必要事項

2) 「要旨」を電子メールに添付でご提出ください。

・要旨(AとCは800字以内、Bは1000字以内)

・ワード形式またはテキスト形式で電子メールに添付し、件名を「東洋音楽学会大会発表要旨」として、以下までご送付ください。

第72回東洋音楽学会大会 発表担当アドレス

tog72hp@gmail.com

発表申込フォームおよび要旨提出の締切

6月30日(水) 厳守

◇ その他の注意事項

- ・映像作品の提出は、10月11日(月) 締切厳守
- ・発表申込フォームと要旨の両方を受領した時点で、その旨を電子メールで通知致します。提出後、1週間を過ぎても受領通知がない場合は、上記の発表担当アドレスまで至急ご連絡ください。
- ・採否は大会実行委員会で決定し、7月中を目処に応募者へお知らせ致します。

第38回田邊尚雄賞授賞発表

第38回田邊尚雄賞は、下記のように決定いたしました。

【授賞者・授賞対象】

小尾 淳 『近現代南インドのパラモンと賛歌—バクティから芸術、そして「文化資源」へ—』

(青弓社、2020年2月21日発行) ISBN978-4-7872-7428-1

前島 美保 『江戸中期上方歌舞伎囃子方と音楽』

(文学通信、2020年2月28日発行) ISBN978-4-909658-25-8

【選考経過】

2021年1月8日から候補にあがった全10件を選考委員全員で回覧したうえで、3月18日にテレビ会議システム Zoomにより選考対象のそれぞれについて慎重に審議を重ねた結果、上記2件が選ばれた。

選考委員 小西潤子(委員長)、大内典、塚原康子、伏木香織、三浦裕子

【授賞理由】

本年度は、南インドにおけるパラモンと賛歌を対象としたフィールド研究と江戸中期上方歌舞伎囃子方と音楽についての資料研究という対象も方法も異なる2件が、授賞対象となった。

小尾淳氏の『近現代南インドのパラモンと賛歌—バクティから芸術、そして「文化資源」へ—』は、長期のフィールドワークに基づくデータと歴史研究によって、「賛歌」について南

インドのカルナータカ音楽界全体との相関関係、担い手となったバラモン階層のあり方を中心とした社会的背景との関連を柱にしながら丁寧に論じた、学術性の極めて高い著書である。信仰表出と芸術表現との間を行き来する賛歌の多層的な実践とその変遷がリアルに描き出され、ヒンドゥー文化を支える音楽的資料の集合体としての賛歌のあり方を明らかにしている。博士論文を発展させ、バラモン階級にとって賛歌が「文化資源」としての新たな意味を獲得したという分析に至った点については、十分に論じ切れていないところはあるが、研究に対する意欲が感じられる。本書の取り組みは、宗教性との結びつきが強い東洋各地の諸芸能の研究促進に資するものとしても、高く評価できる。

前島美保氏の『江戸中期上方歌舞伎囃子方と音楽』は、膨大な数の史料を丹念に整理分析し、江戸中期上方歌舞伎における囃子方(唄方・三味線方・鳴物)の実像を具体的に描き出したものである。理論構築を指向するものではないが、江戸歌舞伎に偏りがちな歌舞伎史研究に対して新たな材料を提供したという点で、史料価値が極めて高い研究成果だと位置づけられる。また、唄方における小歌呼称の優位、屋号をもつ囃子方、能との交渉、日蓮宗とのつながり、調子の意識的選択、二上りの多用など、寛延以前の上方向歌舞伎音楽の諸特徴を初めて引き出すとともに、上方から江戸への囃子方の移動実態を明らかにするなど、文化史研究としても意義深い。書籍の約1/3を占める資料編は、複数の所蔵機関に保管される番付類、絵画資料、正本、役者評判記などを整理して、江戸時代上方歌舞伎の囃子方連名を年代順に一覧にしたもので、今後の歌舞伎音楽研究に資するところが極めて大きい。

第39回田邊尚雄賞アンケートのお願い

第39回田邊尚雄賞選考委員会では、新刊情報を広く収集しています。会員の業績を顕彰する貴重な機会ですので、著作物を出版される際は、選考委員会までお早めにお知らせください。自薦のほか他薦も歓迎いたします。

選考対象：2021年1月1日～12月31日の発行物

受付期間：随時。締切は2021年2月上旬(予定)。

記入事項：著者名、書名、発行年月日、発行所名。なお、論文の場合は、掲載誌名、巻次、編集者名、論文頁数も記してください。推薦理由を簡潔にお書き添えいただいても構いません。

送付先：東洋音楽学会 第39回田邊尚雄賞選考委員会

(郵送) 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号
(FAX) 03-3832-5152

（電子メール）LEN03210@nifty.com

※ご連絡の受け取り確認などは遅れる可能性があります。

選考委員：（再任）大内典、塚原康子、三浦裕子

（新任）高松晃子、飯野りさ

第18回通常理事会議決事項のお知らせ

2021 年 4 月 4 日（日）に web 会議システム Zoom を用いて第 18 回通常理事会が開催されました。主な議決事項をお知らせいたします。

1) 新入会員について

前回理事会（2020 年 11 月 8 日）以降に申し込みのあった正会員 5 名、学生会員 12 名の入会が正式に承認されました。

2) 令和 3 年度研究発表大会および公開講演会について

本号の関連記事をご覧ください。

3) 令和 3 年度事業計画の件

【添付書類 1】の通り承認されました。

4) 令和 3 年度収支予算の件

【添付書類 2】の通り承認されました。

5) 第 38 回田邊尚雄賞受賞者について

本号の関連記事をご覧ください。

6) 第 39 回田邊尚雄賞選考委員について

大内典、塚原康子、三浦裕子（以上、留任）、飯野りさ、高松晃子（以上、新任）の 5 氏に委嘱することが承認されました。

7) 令和 2 年度の公益目的支出計画の件

完了予定年度が長期にわたり誤認されていましたが、期間の延期申請は行わず、開始当初の予定通り令和 2 年度で完了させることが承認されました。

8) 日本学術振興会育志賞の学会推薦について

本号の関連記事をご覧ください。

9) 参事委嘱、参与解嘱について

多和田真理氏への沖縄支部参事の委嘱、辞退による酒井諄氏の参与の解嘱が承認されました。

日本学術振興会育志賞の学会推薦について

2021 年 4 月 4 日（日）に行われた第 18 回通常理事会において、令和 3 年度日本学術振興会育志賞の学会推薦に曾村みづきさんが選出されました。育志賞は平成 21 年に天皇陛下からの御下賜金によって、優秀な大学院博士課程の学生を顕彰するために創設された賞です。対象分野は人文学、社会科

学、自然科学にわたる全分野で、大学院博士課程に在学している 34 歳未満が対象です。当該大学長、所属する学会長からの推薦をうけて、日本学術振興会が設置した選考委員会によって 16 名程度が選考されます。本学会では、機関誌における論文または研究ノートの掲載実績、大会、例会での発表実績等を勘案して、理事会議決を経て推薦することにしております。曾村みづきさんは機関誌第 85 号に掲載された論文、第 69 回、第 71 回における大会発表が評価されて今回学会推薦に選出されました。

名簿情報登録フォームに入力してください

本年は学会名簿作成の年にあたります。新しい名簿は、本年 8 月末発行予定の機関誌に同封されます。学会ホームページ (<http://tog.a.la9>) に名簿情報登録フォームを設けましたので、6 月 21 日（月）までに必要事項を入力してください。

手書きをご希望の方は、同封の用紙または学会ホームページから様式をダウンロードして必要事項をご記入の上、電子メール添付ファイルまたはファックスにて学会事務所（LEN03210@nifty.com、03-3832-5152）宛てに、6 月 21 日（月）までに送信してください。

いずれの場合もお早めに情報をお寄せください。会員名簿は会員相互の円滑な連絡のために作成するものです。作成にあたっては最新の注意を払いますが、会員の皆様におかれましても、個人情報等の管理に充分にご留意下さるようお願いいたします。

会員メールアドレス登録などのお願い

学会発行物のメール配信を推進するため、上記の名簿情報登録フォームに、必ず正しいメールアドレスをご登録ください。

2021 年 3 月 31 日まで継続してきました郵送停止アンケートは、この名簿情報登録フォームで引き行っております。事務経費削減のため、より多くの会員の方からの郵送停止をお願いいたします。

なお、スマホやタブレット端末を利用する場合、QR コードをご利用いただけます。



会報および支部だより／通信などの郵送停止手続きのお願い

学会の事務効率化のため、会報などの郵送停止をお申し出いただきました会員のみなさまに感謝いたします。

会報第 112 号（本号）より、メールアドレスへのデジタル配信（リンクのお知らせとダウンロード）の試用を開始しました。

配信用 ML への登録依頼に承諾いただきました方には、本号 PDF 版（今回は、個人情報などの割愛版）へのリンクをメールでお届けしました。ご確認ください。幸いです。

もし、受信ボックスにそのメールが見当たらない場合は、迷惑メールとして処理された可能性もあります。メールソフトウェアで、「[TOG-Haishin:]」から始まる題名を検索してください。

現在は試用段階のため、郵送も継続しています。今後の郵送停止予定については改めてお知らせいたします。また沖縄支部通信はすでに郵送停止になっていますが、東日本・西日本支部についても将来的に郵送停止の方向で検討を行っています。

会員の受賞

◇伊野義博さんが 2019 年度小島美子・藤井知昭記念日本民俗音楽学会賞を受賞

本学会の伊野義博さんが、著書『伝統音楽の基礎知識&活動アイディア ―にほんごは おんがくの すてきな おかあさん―』（明治図書、2019 年）と、同著作に至る長年の「学校現場における日本の伝統音楽教育の実践的生徒指導方法の開発」の優れた業績に対して、2019 年度小島美子・藤井知昭記念日本民俗音楽学会賞を受賞されました。

会費納入のお願いと会員割引のお知らせ

1. 会費納入のお願い

2020 年 9 月から新しい年度（2020 年度）が始まりました。会費未納の方は、金額をお確かめの上お払ください。よう、お願い申し上げます。振込用紙を紛失された場合は、下記学会口座宛にお振込ください。

正会員：8,000 円

学生会員（大学院生を除く）、および割引申請者：6,000 円

○郵便局からの払込

ゆうちょ銀行 [口座番号] 00160-6-55723 [加入者名] 一般社団法人東洋音楽学会

○他金融機関からの振込

ゆうちょ銀行 [支店名] 〇一九（ゼロイチキュウ）店（019）

[当座] 0055723

○オンライン決済サービスによる納入

ペイパル（PayPal）によるオンライン決済で会費が納入できます。学会ウェブサイトのトップページ（<http://tog.a.la9.jp/>）の「入会方法はこちら」をクリックし、「入会方法」のセクションをご覧くださいと納入ボタンがあります。オンライン決済にはペイパルへのログインが必要です。ペイパル・アカウントをお持ちでない方は、アカウントを開くと送金できます（アカウント開設費無料）。なお、オンライン決済には手数料が発生するため、納入金額は以下のようになります。

正会員：8,350 円

学生会員（大学院生を除く）、および割引申請者：6,280 円

2. 会費割引制度のお知らせ

本学会には、夫婦・親子割引、大学院生（博士課程・修士課程）・研究生割引の制度があります。それぞれ条件や申込方法が異なります。

学会のホームページ（<http://tog.a.la9.jp/about.html#7>）で確認の上、お申し込みください。なお、大学院生の割引制度を受けるためには「大学院生会費減額措置願い」と学生証のコピーを、また研究生の割引制度を受けるためには、「研究生会費減額措置願い」と学生証のコピー、履歴書が必要です。次年度以降も継続して減額措置を希望する場合は、毎年、前年度末すなわち 8 月 31 日までに、「減額措置願い」を提出する必要があります。

3. 会費の滞納者へのご注意

滞納がありますと、会員の権利（研究会・大会での発表、学会の発行物の受取）が行使できないことがありますのでご注意ください。

4. 卒論・修論の発表者へのご注意

発表を機に入会された会員にも、新年度の会費納入義務が発生いたします。退会するためには退会届が必要です。その旨ご了解のうえ、会費の納入にご協力ください。

『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ

学会機関誌『東洋音楽研究』第87号(2022年8月刊行予定)の原稿を募集いたします。

投稿を希望される方は、学会機関誌最新号に掲載予定の投稿規定および学会ホームページ掲載の「投稿の手引き」をよくお読みの上、ご投稿ください。「投稿規定」は機関誌編集委員会で改定を行うことがあります。必ず最新号でご確認ください(学会ホームページで閲覧する場合、最新のものを取得するために、ページの再読み込みを必ず行ってください)。分量の限度の守られない投稿がしばしば見受けられます。ご注意ください(字数を必ず明記してください)。

送付先: 〒110-0005

東京都台東区上野 3-6-3 三春ビル 307号

東洋音楽学会事務局内 機関誌編集委員会

Tel: 03-3832-5152 (Fax 兼)

送付方法: プリントアウトした原稿を郵送してください。

ただし、書留郵便にはしないでください。

なお、封筒の表に、「機関誌投稿原稿在中」と明記してください。

締切: 2021年12月6日(月) 必着

ICTM(国際伝統音楽学会)に関するお知らせ

1. 第46回 ICTM 世界大会について

新型コロナウイルスの世界的流行を受け、会期は延期されました。また当初掲げられていた学会テーマの7つのうち1つが、コロナ禍を反映して変更されています。

日時: 2022年7月21日~27日(当初予定されていた2021年7月から延期されました)

開催地: Institute of Ethnomusicology - Center for Studies in Music and Dance, および NOVA School of Social Sciences and Humanities, New University of Lisbon (NOVA-FCSH) (ポルトガル、リスボン)

テーマ(1のみ当初のテーマから変更)

1. Engaging Global Health and Climate Crises through Music and Dance
(Ecomusicologies and Ecochoreologies: Sound, Movement, Environment から変更)
2. Dance, Music, and Human Rights: Coexistence and Inequalities in the Contemporary World
3. Approaches to Archival Practices
4. Connected Communities: Ocean Trajectories and Land Routes
5. Music and Dance Cosmopolitanisms
6. Music and Dance Industries
7. New Research on Other Topics

各テーマや発表募集についての詳細は、ICTM ホームページ(<http://www.ictmusic.org/>)の“Events - Next World Conference (Postponed to July 2022)”のリンクからご覧になれます(<http://ictmusic.org/ictm2022>)。発表申し込みは同ページ内のリンクより行うことができます(<https://www.ictmusic.org/ictm2022/submit>)。

発表申込の締切: 2021年9月15日

発表可否の通知: 2021年12月

2. *Yearbook for Traditional Music* Vol. 52 (2020)の発行

ICTMの機関誌、*Yearbook for Traditional Music*の52号(2020年号)が2021年1月に発行され、会員に配布されました。9本の論文、10本の書評、5本のCD評、7本のビデオ/フィルム評、4本のマルチメディア評を含む充実した内容となっています。

3. *Yearbook for Traditional Music* バックナンバーのオンライン・アクセスについて

毎年一回発行されている *Yearbook for Traditional Music* は2019年51号よりケンブリッジ大学出版から出版されるようになりました。それに伴いICTM 会員の特典として、同誌のバックナンバー(1981年~現在)、および同誌の前身である *Yearbook of the International Folk Music Council* (1969-1980) と *the Journal of the International Folk Music Council* (1949-1968) のバックナンバーがオンライン上で無料閲覧できるようになりました。

閲覧方法は、以下の通りです。

- ① ICTM のウェブサイト (<http://ictmusic.org/>) を開き、ユーザーネームとパスワードを入力してログインする。
- ② 左側に出てくる「Member Service」のメニューから「Your Account」を選びクリックする。
- ③ 「Benefits for members in good standing」の一覧から「Access the Yearbook for Traditional Music at Cambridge Core」を選んでクリックする。
- ④ Yearbook for Traditional Music のトップページが開き、検索ウィンドウが現れる。
- ⑤ 検索ウィンドウでキーワードや著者名で論文検索ができる他、その下にあるメニューから、最新号は「latest issue」、その他のバックナンバーは「all issues」をクリックして閲覧が可能です。
- ⑥ 記事の一覧がでてきたら読みたい論文にチェックを入れ、左側のメニューの「Actions for selected content」から PDF ダウンロード、Kindle や Google Drive への転送などが可能です。

会員の特典として、ぜひご利用ください。

藝術学関連学会連合第15回シンポジウムのお知らせ

日本学術会議協力学術研究団体である藝術学関連学会連合（藝関連）は、本学会を含む 15 学会から構成されており、公開シンポジウムを毎年開催しています。本年度は、「芸術とスポーツ」をテーマに、6 月 12 日（土）にオンラインで開催の予定です。このシンポジウムは昨年度開催が予定されていましたが、延期となっていたものです。詳細については、決まり次第以下のウェブサイトに掲載される予定です。皆さん、ぜひご参加ください。

<http://geiren.org/>

RILM委員会からのお知らせ

◇『音楽文献目録オンライン』の公開

『音楽文献目録 48』（2020 年版）はコロナ禍のため編集困難となり、冊子体での刊行を見送ることになりました。今後は、冊子体の刊行は行わず、以前から予定していました Web 版の『音楽文献目録オンライン』を 2021 年 4 月 1 日より公開いたしました。『音楽文献目録オンライン』は冊子体に掲載されていた項目を網羅し、かつ検索機能を充実させ、より使いやすくなっています。今般の公開時点では 48 号のみとな

りますが、その後、遡及入力を進め、過去の目録も含めて検索・閲覧できるようになります。

◇東洋音楽学会会員の『音楽文献目録オンライン』へのアクセス

本学会 HP に表示される「音楽文献目録オンライン」をクリックした後、ID とパスワードを入力してアクセスしてください。

個人情報のため削除

東日本支部からのお知らせ

◇定例研究会発表募集（12 月、2 月例会）について

東日本支部では、2021 年 12 月 4 日（オンライン開催）と、2022 年 2 月 5 日（開催方式未定）の定例研究会における発表を募集しています。

発表をご希望の方は、発表種別（研究発表・報告等）、発表題目、要旨（800 字以内）、発表希望月、氏名、所属機関、連絡先（住所、電話、E-mail、あれば Fax）を明記の上、12 月例会については 9 月 20 日までに、2 月例会については 11 月 20 日までに、東日本支部事務局にメールでお申し込みください。

なお、発表希望をご提出後 1 週間しても支部事務局から連絡がない場合には、メール事故等の可能性がありますので、お手数ですが、再度ご連絡ください。

◇「会員の声」投稿募集

東日本支部発行「東日本支部だより」には、会員の皆様からの情報を掲載する「会員の声」欄を設けています。研究会、講演会、展示会など、会員の活動に関連する情報がありましたら、東日本支部事務局あてお知らせください。投稿方法などの詳細は『東日本支部だより』の最終ページをご覧ください。

[東日本支部事務局] E-mail: tog.higasi@gmail.com

◇例会情報は支部ホームページで紙媒体より早くご覧いただけます。

HP の例会情報は、「支部だより」や「例会案内チラシ」がお手元に届く 1 週間前には公開されます。HP で情報をチェックし、例会参加手続きをお早めにお済ませください。

樋口昭氏ご逝去

当学会で昨年度まで監事を務められた樋口昭氏が3月11日にご逝去されました。樋口氏は長年にわたり理事・監事として学会に貢献してこられました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

神出鬼没の樋口さん、今度は何処に現れるのでしょうか・・・
どうか安らかに眠りください。

東京藝術大学音楽学部楽理科クラスメイト
鈴木由喜子（京都在住）

樋口昭さんの思い出

樋口さんほど、憎まれ口をたたきながら、愛された人を私は知りません。

頑固で辛辣、独特の価値観を持った方、でも優しい人というのがクラスメイトの評価です。

彼の業績については皆が知るところですので、敢えて書きません。

樋口さんといえば、友人の誰もが知る食通です。そこでエピソードを2,3紹介することにします。

・数年前、城端祭りに同行したとき（彼は毎年行っているようですが）、「饅頭屋」に立ち寄ると、「完売」の張り紙があったのですが、樋口さんが顔を出すと、「採ってあります。」と奥から持ってきてくださいました。関東のどなたかの口に入ったことでしょう。

・野菜嫌いでも有名で、「トマトには砂糖を掛けて食べる。」とおっしゃっていました。

少し前NHKTVのレポートで、東京在住のあるモンゴル人はマトンを1日に1キロ食べるけど、野菜を一切食べない、「羊は草を食べるので、野菜を食べる必要はない。」という映像でした。それを見た私は「樋口さんはモンゴル人みたい・・・」と大変失礼な言葉を投げかけてしまいました。彼は笑って、受け流してくれましたが・・・確かに色黒で、彫りの深い顔立ちは、もしかしたら・・・と思っても不思議ではないですよ。彼曰く「新宿生まれの江戸っ子(?)」だそうです。

・祭り好き 祭りと聞くとじっとしてられないようですね。毎年祇園祭には来られます。7月16日（宵山）PM7時 「四条傘鉦」へ行けば樋口さんと会えます。「四条傘鉦」のお囃子の復元をなさったそうです。時に酷暑の中、巡行について行かれました。

奈良の友人ご夫妻の話ですが、2015年11月13日の大阪堺、櫻井神社の「上神谷（にわだに）のおおどり」を見に行き、「流石に樋口先生はここまでは来られてないでしょうね。」と話していたら、目の前にカメラを構えて立っていらして、びっくりした、そうです。

まだまだ思い出は尽きません。

会員異動

個人情報のため削除

個人情報のため削除

個人情報のため削除

- 松川恭子・寺田吉孝編著 青弓社
『高知よさこい祭り——市民がつくるパフォーミング・
アーツ』 岩井正浩 岩田書院
『雅楽だより』第64,65号 雅楽協議会
『演文庫戯単図録——中国芝居番付コレクション』
中里見敬・松浦恆雄編 花書院
『日本音楽博物館論』 井上裕太 同成社
『森の中のレコーディング・スタジオ——混淆する民族音楽
と周縁からのグローバリゼーション』 佐本英規 昭和堂
『民謡とは何か?』 オルフェ・ライブラリー
島添貴美子 音楽之友社
『流亡者们的乐坛——上海租界の音楽と芭薈』
井口淳子著 彭瑾訳 上海音乐学院出版社
『音楽学』第66巻2号 日本音楽学会
An Anthropology of Ba: Place and Performance Co-emerging.
Caitlin Coker, Gaku Kajimaru
and Kazuhiro Kazama eds.
Kyoto University Press & Trans Pacific Press
『伝説と創造: 東京音楽大学附属民族音楽研究所研究紀要』
Vol.10 東京音楽大学附属民族音楽研究所
『美学論究』第三十六編 関西学院大学美学芸術学会

新刊書籍

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)、価格(税抜)

- 『礒山雅随想集 神の降り立つ楽堂にて』
礒山雅(著)、森岡めぐみ(編著)、
アルテスパブリッシング、2,420円
『一目瞭然! 目からウロコの楽典』
佐々木邦雄、ヤマハミュージックメディア、1,540円
『1冊でわかる ピアノのすべて』
青山 一郎、アルテスパブリッシング、2,420円
『一般音楽論』 清水響、リットーミュージック、2,750円
『イラン伝統音楽の即興演奏: 声・楽器・身体・旋法体系を
めぐる相互作用』 谷正人、スタイルノート、2,750円
『ウクレレ/日本のこころ[改訂版]~ソロ・ウクレレで奏でる思
い出のメロディ 模範演奏CD付』 平倉信行、
ドリーム・ミュージック・ファクトリー、2,200円
『歌う人のためのはじめての解剖学』
川井 弘子(著/文)、坂井 建雄(監修)、誠信書房、3,850円
『歌の本』 國土潤一、音楽之友社、2,090円
『翁の本01 熊本・喜多流 翁プロジェクト』
「翁の本」編集チーム、檜書店、1,100円
『踊るバロック』

図書・資料等の受贈

(2021年1月~4月、到着順)

- 『東方學會報』No.119 (一財)東方学会
『楽道』1,2,3,4月号 (公財)正派邦楽会
『イラン伝統音楽の即興演奏——声・楽器・身体・旋法
体系をめぐる相互作用』 谷正人 スタイルノート
『世界を還流する〈インド〉——グローバリゼーション
のなかで変容する南アジア芸能の人類学的研究』

赤塚健太郎、アルテスパブリッシング、3,080円
『おのずから出て来る能』 玉村 恭、春秋社、3,960円
『オンカク：音楽家、指導者、フリーランスのための確定申告・税金ガイド 2021 改訂版』
栗原邦夫、音楽之友社、1,540円
『音楽学研究物語：村井範子が語る日本における音楽学研究のあけぼのとその時代』
村井範子、中西紗織、芸術現代社、3,300円
『音楽キャリア発達支援：力に気づき自分らしくあるために』 山本智子、北樹出版、1,650円
『音楽好きな脳：人はなぜ音楽に夢中になるのか』
ダニエル・J・レヴィティン(著)、西田美緒子(訳)、ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス
ミュージックメディア部、2,090円
『音楽と宣教と教会：第54回神学セミナー(関西学院大学神学部ブックレット；13)』 関西学院大学神学部編、水野隆一ほか、キリスト新聞社、1,650円
『音楽の鑑賞資料と基礎学習』 教芸音楽研究グループ、教育芸術社、880円
『音楽メディア・アップデート考：批評からビジネスまでを巡る8つの談話』 加藤一陽(著)、鹿野淳ほか(述)、リットーミュージック、1,760円
『音楽を操るマニピュレーターの世界：時代とともに進化する音のプロフェッショナルたち』
INA(企画・監修)、今津甲(取材・構成)、ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス
ミュージックメディア部、2,420円
『かきやまぶし』(講談社の創作絵本、狂言えほん)
もとしたいづみ(文)、田中六大(絵)、講談社、1,650円
『歌舞伎評判記集成 第三期 第四巻』
役者評判記刊行会、和泉書院、16,500円
『観世文庫所蔵能楽資料解題目録』
観世清和(監)、松岡心平(編)、横山太郎(編)、高橋悠介(編)、檜書店、14,300円
『近代日本の音楽百年 黒船から終戦まで 第四巻 ジャズの時代 黒船から終戦まで』
細川周平、岩波書店、14,300円
『くらしに役立つ音楽』
石塚謙二、明官茂(監修)、東洋館出版社、1,650円
『くるみざわしん精神医療連作戯曲集』
くるみざわしん、ラグーナ出版、2,200円
『芸能文化博物館事典：祭礼・演劇・映画・音楽から服飾・マンガ・アニメまで』
日外アソシエーツ編集、日外アソシエーツ、14,850円
『現代音楽史：闘争しつづける芸術のゆくえ』

沼野雄司、中央公論新社、990円
『興福寺に鳴り響いた音楽 教訓抄の世界』(二松学舎大学学術叢書) 磯水絵、思文閣、8,800円
『黒人霊歌の即興性』 國友淑弘、教文館、4,180円
『古典派音楽の様式』 チャールズ・ローゼン(著)、大久保賢(訳)、中村真(訳)、音楽之友社、9,900円
『サウンドレコーディング技術概論 2021 年版』
日本音楽スタジオ協会、兼六館出版株式会社、4,400円
『三頭立て獅子舞：その歌と芸能の世界』
飯塚好、文芸社、2,200円
『16・17世紀の数学的音楽理論：音楽の数量化と感性的判断をめぐる』 大愛崇晴、晃洋書房、7,700円
『尺八を科学する』
免出隆山、ブイツーソリューション、2,200円
『笙で世界の名曲を』 真鍋尚之、里文出版、2,200円
『ショパン全書簡 1836～1839年』
ゾフィア・ヘルマン(著/文)、ズビグニェフ・スコヴロ(著/文)、ハンナ・ヴルブレフスカ=ストラウス(著/文)、関口時正(訳)、重川真紀(訳)、平岩理恵(訳)、西田諭子(訳)、木原 槇子(訳)、岩波書店、22,000円
『ジョン・レノン伝(1940～1980)』
藤本国彦、毎日新聞出版、2,750円
『すぐに役立つ移調楽器の読み方：これですらすら読める！書ける！』 伊藤辰雄、音楽之友社、2,640円
『すぐに覚えて忘れない おさるのどおんぷのぬりえ』
真仲礼子、ドリーム・ミュージック・ファクトリー、880円
『すぐできる0・1・2歳児の手あそび&ピアノ伴奏』
阿部直美 編著、中央法規出版、1,980円
『西洋音楽の正体 調と和声の不思議を探る』
伊藤友計、講談社、1,925円
『世界を環流する〈インド〉：グローバリゼーションのなかで変容する南アジア芸能の人類学的研究』
松川恭子、寺田吉孝、青弓社、4,840円
『一九四〇年代素人演劇史論』 小川史、春風社、5,500円
『武満徹逍遥』 小沼純一、青土社、2,860円
『探索して音に出会う：音・楽器で遊ぶ幼児の事例から』
伊原小百合、みらい、5,610円
『強い心と体をつくる「吹奏楽ヨガ」：呼吸法から体幹トレーニングまで』 吉田巴瑛、明治図書出版、2,090円
『東欧音楽夜話～越えられない国境／未完の防衛線』
伊東信宏、音楽之友社、2,530円
『童謡が輝いていた頃 アイスcreamの歌の自叙伝』
服部公一、音楽之友社、2,530円
『長唄 雛鶴三番叟』 杵家彌七(四世)(原著)、

杵家彌七(六世)(著/文)、杵家彌七出版、880円
『日本における讃美歌』

手代木 俊一、日本キリスト教団出版局、7,150円
『バイエルの刊行台帳』

小野亮祐、安田寛、音楽之友社、2,750円
『バッハ』

久保田慶一、音楽之友社、2,640円
『バッハ、神と人のはざまで』

鈴木雅明、音楽之友社、2,860円
『ピアニストを生きる：清水和音の思想』

青澤隆明(編)、清水和音(著)、音楽之友社、2,200円
『「ピアノ習ってます」は武器になる』

大内孝夫、音楽之友社、1,540円
『東アジアの歌と文字』

真下厚(編)、遠藤耕太郎(編)、波照間永吉(編)、勉誠出版、3,080円
『文化を問い直す』

平田栄一郎(編)、針貝真理子(編)、北川千香子(編)、彩流社、3,300円
『マダム・ピリンスカとショパンの秘密』

エリック=エマニュエル・シュミット(著)、船越清佳(訳)、音楽之友社、1,980円
『水野式音楽理論のトリック = trick of the music theory : 音楽家が躓きそうなポイントを紐解く水野式音楽理論書』

水野正敏、シンコーミュージック・エンタテイメント、2,200円
『民謡とは何か?』

島添貴美子、音楽之友社、2,750円
『もう一度楽しむ能』

友枝真也・馬場あき子(著)、淡交社、2,420円
『モーツァルト 愛と死 I』塩山 千仞、春秋社、9,350円
『モーツァルト 愛と死 II』塩山 千仞、春秋社、9,350円
『森の中のレコーディング・スタジオ：混淆する民族音楽と周縁からのグローバリゼーション』

佐本英規、昭和堂、5,940円
『読んで覚える楽譜のカラクリ』

田熊健、自由現代社、1,430円
『和妻無形文化財南京玉すだれ史：仙助流南京玉すだれ研究資料』

芝辻仙助、ひろしま講演芸古典芸能南京玉すだれ保存会、17,000円
『和歌山県の祭りと民俗』

和歌山県民俗芸能保存協会、東方出版、2,420円

新発売視聴覚資料

●CD

『癒しの二胡 ～ふるさと・愛燦燦～』

土屋玲子、KiRiKo ほか、COCJ-41401、2,200円
『沖縄みんなのうた』

あかまーみ、TUNE-19、2,727円
『聴いて学ぼう！伝統邦楽』解説：薦田治子、小塩さとみ、谷垣内和子、COCJ-41327-9、6,600円
『吟詠名流名演集成』落合克鶯、創流宗派、笹川鎮江ほか、COCJ-41379-80、3,980円
『佐藤祐幸の民謡 北国の郷愁と鹿角民謡』

佐藤祐幸、COCJ-41382、3,000円
『地歌のいろは～九州系地歌と上方地歌の競演～』

藤本昭子、菊央雄司 ほか、VZCG-838、3,301円
『「津軽三味線ひとり旅」“青春十八番(おはこ)”盤』

彩青、COCA-17852、1,350円
『日本の民謡 青森・岩手編』

三橋美智也、佐々木基晴 ほか、KICH-322、1,981円
『日本の民謡 秋田・山形編』

小野花子、小田代直子 ほか、KICH-323、1,982円
『日本の民謡 沖縄編』

古謝美佐子、比屋根幸乃 ほか、KICH-329、1,988円
『日本の民謡 関東・甲信越編』

谷島明世、比氣由美子 ほか、KICH-325、1,984円
『日本の民謡 九州編』

大塚文雄、早坂光枝 ほか、KICH-328、1,987円
『日本の民謡 近畿・四国・中国編』

大塚文雄、佐藤松子 ほか、KICH-327、1,986円
『日本の民謡 東海・北陸編』

小杉真貴子、大塚文雄 ほか、KICH-326、1,985円
『日本の民謡 北海道編』

三橋美智也、大塚文雄 ほか、KICH-321、1,980円
『日本の民謡 宮城・福島編』

大塚文雄、山上衛 ほか、KICH-324、1,983円
『日本の民謡 宮古・八重山編』

大浜博起、大浜みね ほか、KICH-330、1,989円
『百年の時を甦る幻の音色～長谷幸輝検校ゆかりの三味線披露演奏会～』

藤本昭子 ほか、VZCG-837、3,300円
『民謡舞踊愛曲集 ～あじさい旅情～』

監修：中山義夫、COCF-17863、1,760円

●CD+DVD

『埼玉のおどり』公益社団法人 日本フォークダンス連盟監修、COZA-1708-9、8,800円

編集後記

今号より編集委員が一部交代し、新体制になりました。記事でもお知らせしたとおり、当学会も情報のデジタル化に向けての助走段階に入っています。会報も今号から一部の方に試験的にデジタル配信を始めることになりました。配信方法だけでなく、掲載内容や形態など様々な側面から新しい会報のありかたを考えていく必要がありますが、当面は従来通り紙媒体でも並行して発行していく予定です。どうぞよろしくお願いたします。

増野亜子

会報編集委員会

理事：澤田篤子、増野亜子

委員：山下正美

参事：今泉佳奈、柴森優花、土田まどか、横山洸、吉岡倫裕

第18回通常理事会添付書類

令和3年度（2021年度）事業計画

（自令和3年（2021年）9月1日 至令和4年（2022年）8月31日）

〔1〕研究発表会および学術講演会の開催（定款第5条1）

(1)公開講演会の実施（定款施行細則第3条1）

- ・日時 2021年10月30日
- ・会場 第72回大会特設サイト（オンライン開催）
- ・課題「音楽研究とメディアの歴史と未来」

(2)研究発表大会の実施（定款施行細則第3条2）

- ・日時 2021年10月31日
- ・会場 第72回大会特設サイト（オンライン開催）

(3)次年度大会の準備

- ・日時 2022年10月または11月
- ・会場 未定

(4)定例研究会（定款施行細則第3条3）

○東日本支部

- ・回数 6回（第124回～第129回 12・2・3・4・6・7月）
- ・会場 オンライン開催ほか
- ・内容 研究発表、卒業論文・修士論文・博士論文発表ほか

○西日本支部

- ・回数 4回（第291回～第294回 10・2・5・7月）
- ・会場 オンライン開催ほか
- ・内容 研究発表、修士論文・博士論文発表ほか

○沖縄支部

- ・回数 2回（第77回～第78回 2・6月）
- ・会場 オンライン開催ほか
- ・内容 研究発表ほか

〔2〕学会誌および学術図書の刊行（定款第5条2）

(5)機関誌『東洋音楽研究』の刊行（定款施行細則第3条4）

○第87号の編集・刊行

- ・内容 会員の論文、研究ノート、資料、書評ほか

(6)会報の刊行

○『東洋音楽学会会報』

- ・第113号（2021年9月）、第114号（2022年1月）、第115号（2022年5月）
- ・内容 会員への諸通知、理事会・総会記録、大会開催案内、大会レポート、
図書・視聴覚資料紹介、会員消息

○『東日本支部だより』

- ・第57号（2021年11月）、第58号（2022年3月）、第59号（2022年6月）
- ・内容 東日本支部定例研究会の開催案内・報告、会員の声ほか

○『西日本支部だより』

- ・第94号（2021年9月）、第95号（2022年1月）、第96号（2022年4月）
- ・内容 西日本支部定例研究会の開催案内・報告、支部会員への諸通知ほか

○『沖縄支部通信』（Webのみで公開）

・第45号（2022年3月）、第46号（2022年7月）

〔3〕関連学協会との連絡および協力（定款第5条3）

(7)日本学術会議への協力

○日本学術会議協力学術研究団体として協力

(8)音楽文献目録委員会への参加

○会員三名を委員として派遣

(9)国際伝統音楽学会（ICTM）への協力

○日本国内委員会として加盟

(10)藝術学関連学会連合への参加

○会員一名を委員として派遣

(11)東洋学・アジア研究連絡協議会への参加

○オブザーバーとして参加

〔4〕研究の奨励および研究業績の表彰（定款第5条4）

(12)「田邊尚雄賞」（定款施行細則第3条5）

○第38回田邊尚雄賞の授賞

・日時 2021年10月30日

・受賞者および授賞対象

小尾淳『近現代南インドのバラモンと賛歌ーバクティから芸術、そして「文化資源」へー』

2020年2月21日発行、東京：青弓社、ISBN978-4-7872-7428-1

前島美保『江戸中期上方歌舞伎囃子方と音楽』

2020年2月28日発行、東京：文学通信、ISBN978-4-909658-25-8

○第39回田邊尚雄賞の選考と発表

〔5〕研究および調査（定款第5条5）

(13)国内または国外における学術調査および研究

とくになし

〔6〕その他目的を達成するために必要な事項（定款第5条6）

(14)東洋音楽学会ホームページを通して行なう学会情報の提供

(15)独立行政法人科学技術振興機構（JST）電子アーカイブ事業への参加

(16)人間文化研究機構国立民族学博物館との連携に関する協定

[第18回通常理事会 添付書類2]

一般社団法人東洋音楽学会

収 支 予 算 書

令和3年9月1日から令和4年8月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	700	1,000	△ 300	
基本財産利息収入	700	1,000	△ 300	
特定資産運用収入	200	500	△ 300	
特定資産利息収入	200	500	△ 300	
入会金収入	0	0	0	
会費収入	4,090,000	4,390,000	△ 300,000	
正会員会費収入	3,800,000	4,100,000	△ 300,000	
賛助会員会費収入	150,000	150,000	0	
特別会員会費収入	140,000	140,000	0	
事業収入	1,095,000	1,490,000	△ 395,000	
機関誌発行収入	350,000	370,000	△ 20,000	
大会広告料収入	385,000	500,000	△ 115,000	
大会参加費収入	360,000	290,000	70,000	
懇親会費収入	0	280,000	△ 280,000	
食料費収入	0	50,000	△ 50,000	
その他事業収入	0	0	0	
補助金等収入	0	0	0	
負担金収入	0	0	0	
寄付金収入	0	0	0	
寄付金収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
受取利息収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
他会計振替額	1,230,000	1,230,000	0	
本部会計振替収入	1,230,000	1,230,000	0	
大会会計振替収入	0	0	0	
東日本支部会計振替収入	0	0	0	
西日本支部会計振替収入	0	0	0	
沖縄支部会計振替収入	0	0	0	
事業活動収入計	6,415,900	7,111,500	△ 695,600	
2. 事業活動支出				
事業費支出	6,485,000	7,075,000	△ 590,000	
給料手当支出	1,200,000	1,200,000	0	
臨時雇賃金支出	230,000	240,000	△ 10,000	
法定福利厚生費支出	5,000	5,000	0	
旅費交通費支出	327,000	542,000	△ 215,000	
通信運搬費支出	1,047,000	890,000	157,000	
消耗什器備品費支出	0	0	0	
消耗品費支出	66,000	73,000	△ 7,000	
賃借料支出	810,000	800,000	10,000	
印刷製本費支出	779,000	720,000	59,000	
諸謝金支出	260,000	250,000	10,000	
租税公課支出	10,000	10,000	0	
負担金支出	190,000	190,000	0	
会議費支出	26,000	41,000	△ 15,000	
広報普及費支出	380,000	370,000	10,000	
田邊尚雄賞関連費支出	150,000	220,000	△ 70,000	
会場運営費支出	0	180,000	△ 180,000	
機関誌作成費支出	800,000	800,000	0	
例会運営費支出	140,000	144,000	△ 4,000	
懇親会費支出	0	280,000	△ 280,000	
保険料支出	0	0	0	
事務委託費支出	0	0	0	
食料費支出（雑支出①）	0	70,000	△ 70,000	

一般社団法人東洋音楽学会

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
慶弔費支出（雑支出②）	20,000	20,000	0	
手数料支出（雑支出③）	24,000	24,000	0	
雑支出（雑支出④）	21,000	6,000	15,000	
管理費支出	550,000	540,000	10,000	
事務委託費支出	550,000	540,000	10,000	
他会計振替額	1,230,000	1,230,000	0	
本部会計振替額	0	0	0	
大会会計振替額	200,000	200,000	0	
東日本支部会計振替額	560,000	560,000	0	
西日本支部会計振替額	400,000	400,000	0	
沖縄支部会計振替額	70,000	70,000	0	
事業活動支出計	8,265,000	8,845,000	△ 580,000	
法人税等の支払額	0	0	0	
事業活動収支差額	△ 1,849,100	△ 1,733,500	△ 115,600	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
基本財産取崩収入	0	0	0	
特定基金取崩収入	1,870,000	1,800,000	70,000	
田邊尚雄賞基金取崩収入	150,000	220,000	△ 70,000	
研究推進事業基金取崩収入	1,720,000	1,580,000	140,000	
固定資産売却収入	0	0	0	
投資有価証券売却収入	0	0	0	
敷金・保証金戻収入	0	0	0	
投資活動収入計	1,870,000	1,800,000	70,000	
2. 投資活動支出				
基本財産取得支出	0	0	0	
特定資産取得支出	0	0	0	
固定資産取得支出	0	0	0	
投資有価証券取得支出	0	0	0	
敷金・保証金支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	1,870,000	1,800,000	70,000	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
借入金収入	0	0	0	
基金受入収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
借入金返済支出	0	0	0	
基金返還支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
予備費支出	△ 20,900	△ 66,500	45,600	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

この1枚で世界一周！ 音楽鑑賞 Blu-ray Disc

鑑賞教材 初の Blu-ray

迫力ある演奏のみならず、各国の風景、
美しい民族衣装などの文化にも触れることができます！
全ての映像について、研究者によるライナーノーツ付き！

- 世界の民族音楽を知るうえで貴重な映像資料を、
DVD を遥かに凌ぐ高解像度の Blu-ray で鑑賞できます。
- 最新技術のマスタリングによって
立体感あるサウンドが楽しめます。
- 49カ国、86曲を収録

品番：NXS-1 Blu-ray ディスク1枚
収録時間 202分
定価（本体 18,000 円＋消費税）
制作：ビクターエンタテインメント株式会社



株式会社

教育芸術社

〒171-0051 東京都豊島区長崎1-12-15

TEL. 03-3957-1177 (販売部直通) FAX. 03-3957-9223 (受注専用)

<http://www.kyogei.co.jp/>

新刊

エチオピア高原の吟遊詩人

うたに生きる者たち

川瀬 慈 著

定価3300円(本体3000円+税10%)



新刊

〔オルフェ・ライブラリー〕

民謡とは何か？

島添貴美子 著

定価2750円(本体2500円+税10%)



東欧音楽夜話 新刊

越えられない国境／未完の防衛線

伊東信宏 著

定価2530円(本体2300円+税10%)



東欧音楽綺譚

クルレンツィス・跛行の来訪神・ペトルーシュカ

伊東信宏 著

定価2530円(本体2300円+税10%)



〔オルフェ・ライブラリー〕

亡命者たちの上海楽壇

租界の音楽とバレエ

井口淳子 著

定価2860円(本体2600円+税10%)



〔音楽指導ブック〕

しょうが

唱歌で学ぶ日本音楽 (DVD付き)

日本音楽の教育と研究をつなぐ会 編著／徳丸吉彦 監修
定価3630円(本体3300円+税10%)



〔音楽指導ブック〕

フレーズで覚える三味線入門

小塩さとみ 著

定価2640円(本体2400円+税10%)



〔音楽指導ブック〕

よくわかる日本音楽基礎講座

～雅楽から民謡まで 増補・改訂版

福井昭史 著

定価2640円(本体2400円+税10%)



民族音楽学12の視点

徳丸吉彦 監修 増野亜子 編 定価2750円(本体2500円+税10%)

合本 日本伝統音楽の研究

小泉文夫 著

定価11000円(本体10000円+税10%)

〒162-8716 東京都新宿区神楽坂6-30
https://www.ongakunotomo.co.jp/

音楽之友社

TEL 03-3235-2151 FAX 03-3235-2148

※重版により、定価が変わる場合がございます。予め、ご了承ください。

好評発売中！

いずれも英文解説つき (English Notes Enclosed)



平成13年度 文化庁芸術祭賞
優秀賞受賞作品

琉球古典音楽集成

CD
2枚組

VZCG-8123-24

定価5,500円(税込)

唄・三線：城間徳太郎

(人間国宝) ほか

監修・解説：ロビン・トンプソン

かぐわしき琉球王朝宮廷音楽の世界。



幻の琉球王府宮廷楽

御座楽 (うざがく)

U Z A G A K U

CD

VZCG-681 定価3,143円(税込)

監修・解説：比嘉悦子

編曲・演奏：御座楽復元演奏研究会

失われていた琉球王国の雅楽を復元。
その響きを120年ぶりに蘇らせた
画期的なアルバム！



第十九回日本伝統文化振興財団賞受賞

佐辺良和

(琉球舞踊家・組踊立方)

DVD

VZBG-51 定価3,850円(税込)

〔収録内容〕
「伊野波節」「高平良万歳」「花風」
創作舞踊「あら穂花」

発売元：公益財団法人日本伝統文化振興財団
販売元：株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
お近くのCDショップ、ネットショップ等でお求めください。

公益財団法人 日本伝統文化振興財団
JAPAN TRADITIONAL CULTURES FOUNDATION

東京都目黒区碑文谷3-10-13
info@japo-net.or.jp
https://jtcf.jp/